

## 福岡県福祉サービス第三者評価の結果

## 【第三者評価機関】

名 称	公益社団法人 福岡県社会福祉士会		
所 在 地	福岡市博多区博多駅前3-9-12-5F		
T E L	092-483-2944	F A X	092-483-3037
評価調査者 登録番号	19-a00056、12-b00047		

## 【福祉サービス施設・事業所基本情報】

## ◆経営法人・設置主体

法 人 名 称	しゃかいふくしほうじん じーえぬふくしかい		
	社会福祉法人 ジーエヌ福祉会		
法 人 の 代 表 者 名	りじちよう なかむら りよういち	設 立 年 月 日	昭和・平成
	理事長 中村 量一		15年5月20日

## ◆施設・事業所

施 設 名 称	なかむらがくえんだいがくふぞく おおほりほいくえん	施 設 種 別	保育所
	中村学園大学付属 大濠保育園		
施 設 所 在 地	〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松1丁目2番19号		
施 設 長 名	はまさき ちえ	開 設 年 月 日	昭和・平成
	濱崎 千恵		23年7月1日
T E L	092-751-7525	F A X	092-751-7526
E メ ー ル ア ド レ ス	(不記載)		
ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	<a href="https://www.nakamura-u.ac.jp/ohori/">https://www.nakamura-u.ac.jp/ohori/</a>		
定 員 (利用人数)	165名・世帯(現員170名・世帯) ※該当を○で囲む		
職 員 数	常勤職員：30名		非常勤職員：15名
専 門 職 員	保育士 34名	幼稚園教諭 30名	管理栄養士 1名
	栄養士 1名	調理師 2名	
施 設 ・ 設 備 の 概 要	保育室 7室	多目的ホール 1室	絵本の部屋 1室
	給食室 1室	事務室 1室	相談室 1室

◆施設・事業所の理念・基本方針

理 念	<p>○感性豊かな子どもを育てます。</p> <p>○健康で明るく思いやりのある人格形成の基礎を養います。</p>
基 本 方 針	<p>保育の理念として、朝日のように輝き、新たな生命にみなぎる人間の育成を目指し、「明るく元気な子」「あたたかくやさしい子」「よく考える子」を掲げてその育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全職員で、子ども一人ひとりが安心して自発的に活動する保育を行い、保育理念を踏まえた「3つの力」の育成と育みたい10の姿を具現化する。</li> <li>2. 保育士の資質向上のために、キャリアアップ研修とも連動した計画的で多様な研修を進める。</li> <li>3. よりよい子育てをするために、保護者・地域との連携や子育て支援を充実する。</li> <li>4. 大学付属保育園として実習指導を充実させるなど、大学や付属大濠保育園との連携を深める。</li> <li>5. よき保育の継承と創造を図り、技能や経験を生かす改善サイクルの運営組織を行う。</li> <li>6. 子どもの生活や遊びの環境を充実させるために、環境整備を計画的に推進する。</li> </ol>

◆施設・事業所の特徴的な取組

<p>○昭和23年から六本松で保育をしており、地域に根差した保育をしています。職員の定着率も高く、多くの卒園児が卒園後も遊びに訪れ、在園中のみでなく卒園後の子ども達の成長も見守っています。</p> <p>○子ども達がのびのびと過ごせるよう職員ものびのびと保育実践することを目指しています。子ども達の表現する力を養うため絵画教室や体育教室を取り入れています。</p> <p>○護国神社、大濠公園、舞鶴公園等が近くにあることや、科学館や美術館も徒歩圏内にあり、自然や科学、美術に親しみやすい環境にあります。</p>
---

◆第三者評価の受審状況

評価実施期間	契 約 日	令和5年9月11日
	訪 問 調 査 日	令和6年1月22日・1月23日
	評価結果確定日	令和6年3月28日
受審回数（前回の受審時期）		今回の受審：1回目（前回 なし）

## 【評価結果】

### 1 総 評

#### (1) 特に評価の高い点

##### 1.一人ひとりの子どもを受容した保育実践について

子ども一人ひとりの発達や家庭環境の状況などに応じて、職員間で支援を協議し連携して個人差に配慮した保育を行っています。アレルギーのある子どもに対する除去食をはじめ、その日の子どもの体調を考慮した食事の提供、配慮が必要な子どもに対する支援など、一人ひとりの子どもを受容した保育に取り組んでいます。

##### 2.子ども達が主体的に活動できる環境づくりについて

子どもが主体的に遊べるさまざまな園庭遊びに加えて、職員が工夫し準備した設定保育を通して子どもがじっくり遊ぶことができ、併せて自立心や協同性が自然に身につくような保育環境を提供しています。また保育園の恵まれた立地環境を生かし、散歩など四季を通じて園外保育に出かける機会が多く設けられ、0歳児からの全園児が発達に応じ、興味や関心を持って自然と触れ合い、季節の移り変わりを感じられるように保育内容が設定されています。更に音楽劇やオペレッタなどの発表会に向けた取り組みや、絵画教室の作品の発表の場を設けるなど、子どもができる喜びや達成感を感じ、楽しみながら感性や創造性を高めることができるような環境づくりに努めています。

##### 3.地域との関わりや周辺にある社会資源・環境を活かした保育実践について

子どもと地域の交流を広げるための取組が積極的に行われています。地域にある様々な社会資源を活用した取組がとても印象的です。子どもが興味や関心を持って自然と触れ合い、季節の移り変わりを感じられるように、散歩など四季を通じて園外保育に出かける機会も多く設けられています。また、保育園の行事に地域の方を招待したり、地域の高齢者との交流会、卒園した子ども達が参加する同窓会等も実施されています。

#### (2) 改善を求められる点

##### 1.中・長期事業計画の充実と事業計画の保護者等への周知について

把握した経営課題を踏まえ、職員体制や園児の受入れなどについて中・長期的な運営方針を中・長期的ビジョンとして掲げています。法人理念や保育方針の実現に向けてより具体的なか・長期計画の充実が望まれます。また、中・長期的なビジョンをもとに単年度事業計画が立案されています。策定した中・長期的ビジョンや単年度事業計画を保護者等へ周知し、理解を促すための取組にも期待します。

## 2.人材確保・人材育成に関する方針や期待する職員像の明文化、研修計画の充実について

人材確保・人材育成に関する方針や期待する職員像を明文化し、職員の目標管理等職員一人ひとりの資質向上に繋がる取組の実施に期待します。また、年間研修計画に沿って研修が実施されています。保育園の保育方針や保育目標実現に向けて、研修計画のさらなる充実にも期待します。研修の評価や見直しをチームで実行し、組織的かつ継続的な取組となることに期待します。

## 3.標準的な実施方法の充実について

各種マニュアルが整備され、職員間で共有されています。しかし、一定の保育水準、保育内容を維持するために手順書等の充実が期待されます。手順書等の充実は、各職員が共通認識のもとでの保育実践に繋がります。また、手順書等にはプライバシーへの配慮や権利擁護に関する基本的姿勢の内容が含まれることが望まれます。今後の保育内容の変化や新たな知識・技術の導入への対応も含め、標準的な実施方法の定期的な検討と見直しが行われることに期待します。

## 2 第三者評価の結果に対する事業者のコメント

初めての第三者評価受審でしたが、社会福祉士会の評価者から助言や不明な点は丁寧に説明をいただき安心して受審することができました。ありがとうございました。

今回の受審で、保育の項目に関しては比較的いい評価をいただきましたが、中長期計画や様々なマニュアル作成などについて厳しい評価をいただきました。継続的によりよい保育を提供し続けるために必要なことだと改めて反省しています。

昭和23年に地域の方が作り上げた保育園ですが、令和4年度から中村学園大学付属の保育園となり保育を行っています。子ども達や園運営を地域の方が応援してくださり、保育を学問・研究する学園の支援を受けながら保育できることはありがたい環境だといつも感謝しています。

保護者アンケートでは、厳しいご意見もありましたが、園運営に対するご理解や職員に対する感謝のお言葉なども多くいただき、明日からの保育のエネルギー源となりました。保護者の皆様には、お忙しい中、忌憚ないご意見をいただき感謝しております。

今回、評価いただいたことや保護者アンケートの回答等を真摯に受け止め、よりよい保育ができるよう、またこの地域の子育て世帯の力となるよう職員一同、力を合わせて保育に向き合っていきたいと考えています。

## 3 共通評価基準及び個別評価基準の評価項目による第三者評価結果（別添）

## 【保育所・評価項目による評価結果】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
項 目		評価	コメント
1	I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b ○保育園の保育方針や保育の目標はホームページやパンフレット、入園のしおりに掲載されています。 ○保育方針や保育の目標を事務所内に掲示する他、職員会議での共有、指導計画と一緒に保管し職員がいつでも確認できる工夫をするなど、職員への周知を図っています。また、保護者等にも園だよりを通じて周知を図る取組を実施しています。 ○さらなる取組として、保育方針や保育の目標の周知状況を確認する取組や工夫が望まれます。

#### I-2 経営状況の把握

I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
2	I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ○社会福祉経営者協議会や全保協等に所属し、必要な情報収集・分析に努めています。 ○福岡市保育協会に園として参加し、保育に関する全国の動きを確認したり、福岡市の今後の方向性などを把握するように努めています。 ○子どもの数や保育のニーズを把握・分析しながら事業運営を進めています。
3	I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a ○経営環境や保育の内容、職員体制や財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしています。 ○明らかにされた経営課題に対し具体的な取組を進め、その内容を職員へ周知する取組を実施しています。理事長自らが職員会議へ参加するなど、役員と職員が一体となり事業運営に取り組んでいます。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
4	I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b ○把握した経営課題を踏まえ、職員体制や園児の受入れなどについて中・長期的な運営方針を計画として挙げています。 ○今後、理念や基本方針の実現に向けて、数値目標の設定やより経営課題解決に向けた具体的な取組内容を中・長期計画に含めていくことが期待されます。また、計画の評価や見直しの仕組みづくりも求められます。
5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b ○中・長期計画の内容を踏まえて単年度事業計画を作成しています。具体的な数字も多く、年度末評価がしやすい内容になっています。 ○保育面での重点施策、行事計画、保育事業に関する内容や地域との関わり、職員の研修計画など広い範囲で計画を示しています。 ○今後さらなる取組として、中・長期計画の充実と合わせて、中・長期計画の内容を反映した具体的な取組を単年度事業計画で示していくことに期待します。
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b ○事業計画は、各職員等の意見を集約し策定するよう取り組んでいます。 ○事業計画は理事会や評議員会で確認した後、職員へ書面で配布、職員会議等でも周知する機会をつくり、職員理解を促せるよう取り組んでいます。 ○事業計画の評価や見直しについて、組織的に取り組んでいく為の体制づくりが今後の課題と捉えています。

7	I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	○行事計画は保護者へ配布しています。また、例年と異なる事業計画がある場合については、保護者会やお便り等で保護者に説明しています。 ○事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成し周知するなど、保護者などへ事業計画の理解を促す積極的な取組が求められます。
---	-----------	---------------------------	---	--

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

<b>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</b>				
8	I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	○月に1度の職員会議や週に2回実施されるチーフ会議で保育サービスの向上に向けた話し合いを実施しています。 ○法人系列の保育園と連携することで、保育の質の向上に取り組んでいます。 ○保育園全体の自己評価実施を今後の取組課題と捉えています。計画、自己評価、計画の見直し、保育実践を組織的に取り組む体制づくりに期待します。
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	○保育の質の向上に向けた話し合いを重ね、書面に残すことで職員間での共有を図っています。 ○今後保育園で取り組んでいく課題をより明確にする為、今回の第三者評価のプロセスを参考にし、自己評価やサービス改善への取組が求められます。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

<b>II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</b>				
10	II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	○ホームページを活用し、保育園の特徴や保育方針などを園長の言葉として発信しています。 ○今後さらなる取組として、園長が広報誌や職員会議を通じて自らの役割や責任を明らかにする取組に期待します。園長のリーダーシップがより明らかになることで、職員との信頼関係をさらに築き、より組織的に質の高い保育実践や経営管理に繋がると考えられます。
11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	○園長は人権研修やリスクマネジメントの研修に積極的に参加し、法令に関する内容を職員会議などを通じて職員へ伝えるようにしています。 ○法令を遵守するための具体的な取組を今後の課題として捉えています。倫理や法令遵守の徹底に向けた規程整備などに、組織的に取り組んでいく体制づくりに期待します。
<b>II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</b>				
12	II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	○チーフ会議を中心に保育の質の向上に向けた話し合いを行い、園長も積極的に参加しています。日常の保育と合わせて職員との面談で出た意見も保育の向上に繋がるよう取り組んでいます。 ○保育の質の評価や分析について、継続的な取組としていくことを課題と捉えています。保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、継続的な取組に繋げていくことを期待します。
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	○園長は業務の実効性を高める為、人員体制の充実やアプリを導入し業務の効率化など具体的な取組を進めています。 ○チーフ会議で経営の改善や業務の実効性の向上に向けた話し合いを実施しています。 ○経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内により具体的な体制を構築し、園長のリーダーシップのもと、より具体的な取組を実施していくことが望まれます。

## II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-1 (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育方針や保育目標を達成する為、職種ごとの必要人数を事業計画の中で明らかにし、計画的に人員配置できるよう努めています。</li> <li>○福岡市保育協会主催の就職フェアや法人内の養成校の就職説明会に積極的に参加しています。</li> <li>○今後のさらなる取組として、必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針の明確化に期待します。</li> </ul>
15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人事基準は就業規則などに明記されており、変更がある場合も職員に周知する取組を実施しています。また、一定の人事基準に基づき処遇改善手当を支給しています。</li> <li>○今後さらなる取組として、理念・基本方針に基づいた期待する職員像を明確にし、職員の育成や評価に繋げていくことが求められます。また、キャリアパスの明確化などを活用し、職員が自らの将来を描くことができるような仕組みづくりに期待します。</li> </ul>
II-2-1 (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○園長、副園長、主任を中心に労務管理を実施し、残業や有給休暇取得状況を確認するなど、職員が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。</li> <li>○職員の急な休みへの対応や、職員の状況に応じた短縮勤務への対応、職員の公休希望にもできるだけ配慮するなど取り組んでいます。</li> <li>○福利厚生センターに加入しており、職員も多く福利厚生制度を活用しています。</li> </ul>
II-2-1 (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○園長が職員一人ひとりと面談し、それぞれの目標管理を実施しています。各職員の要望や目標の達成に向けて、人員配置の工夫や研修受講機会の確保などに取り組んでいます。</li> <li>○職員一人ひとりの目標実現に向けて、職員が自らその内容を確認できるものにする為、目標を書面に残す取組に期待します。次年度振り返る際にも活用できると考えられます。また、職員の目標管理にあたり、保育園の期待する職員像の活用（目標管理シートへの記載など）にも期待します。</li> </ul>
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主任保育士を中心に研修計画が立案され計画的に研修が実施されています。子どもの状況や特性に合わせて研修計画を見直しています。</li> <li>○保育園が必要とする専門的な技術やスキルの明確化を今後取り組むべき課題として捉えています。</li> <li>○保育園の保育方針や保育目標実現に向けて、研修計画のさらなる充実が望まれます。実施した研修の評価や見直しを組織的にチームで実行し、継続的な取組となることに期待します。</li> </ul>
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員一人ひとりの知識やスキルを把握し、それぞれに合わせた研修受講ができるよう努めています。また、保育園として外部研修にも積極的に参加するよう努めています。</li> <li>○研修の対象は正規職員に限らず、非正規職員も対象としています。計画的に研修を実施することで、職員自らが保育の方法についての積極的意見を発信するなどその効果を実感しています。</li> </ul>
II-2-1 (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実習生受け入れマニュアルを整備し、実習生を積極的に受け入れています。実習担当職員を配置し、事前オリエンテーションを行い円滑に実習生を受け入れられるよう努めています。</li> <li>○実習生を受け入れる際は、職員や保護者、園児へ周知しています。人材育成をより効果的に行う為、その意義や育成について職員会議で話し合う機会を作っています。</li> </ul>

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<p>b</p> <p>○ホームページを活用し、保育園の基本方針や保育目標、行事計画、保育内容が確認できます。写真も多く掲載され保育園での生活がイメージしやすいものとなっています。</p> <p>○地域に向けてSNSを活用して情報発信したり、各種行事の参加者に印刷物を配布するようにしています。</p> <p>○さらなる取組として、事業計画や事業報告の概要、保育の質の向上に向けた取組、苦情に関する内容（体制や苦情解決の手順など）をホームページなどで広く発信することに期待します。保育園に対して、保護者や地域の理解を深めることに繋がると考えられます。</p>
22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<p>b</p> <p>○保育所における事務や経理、職務分掌と権限・責任が明確にされ職員に周知しています。</p> <p>○法人監事による内部監査が年に一回実施されています。</p> <p>○会計事務所による外部監査が実施されています。今後さらなる取組として、外部の専門家から保育の向上や経営改善に向けた助言を積極的に求めていく姿勢が期待されます。指摘された内容や助言を書面に残し、改善に向けた具体的な取組の実施に期待します。</p>

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
23	II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<p>a</p> <p>○子どもと地域との交流を広げるための取組を積極的に行っています。NHK福岡放送局や地域のスーパーに子ども達の絵を飾ったり、公開空地の七夕の飾り付けやクリスマスのオーナメント飾り付けなど地域と関わる機会を多く設けています。</p> <p>○保育園の行事に地域の方を招待したり、老人クラブと年に一度交流会を実施しています。</p> <p>○日頃から、卒園した子ども達とも積極的に交流しています。卒園児を招き、年に一度同窓会も開いています。</p>
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	<p>b</p> <p>○自主実習や中高生の職場体験、小学校教諭との異校種体験など学校教育への協力を積極的に行っています。</p> <p>○ボランティアの受入や学習への教育への協力に関する方針とマニュアルの作成を今後の課題として捉えています。ボランティア受入れにあたっての手順や流れ、子どもや保護者への事前説明の仕組み、ボランティアへの事前説明の仕組みなど、具体的な方法を書面で明確化することが求められます。</p>
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
25	II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<p>b</p> <p>○要保護児童対策地域協議会に参加し、関係機関や団体と連携して児童虐待の防止や早期発見に向けて取り組んでいます。</p> <p>○地域の社会資源について、職員会議などで情報を共有し、関係機関と連携できるよう努めています。今後さらなる取組として、地域の関係機関やネットワークを整理した資料を作成し、必要に合わせて職員間での活用や保護者への周知に利用する取組に期待します。</p>
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<p>a</p> <p>○地域の方が行事に参加できるよう年間行事に地域交流できるものを計画し、地域との交流の場を確保しています。また、評議員でもある校区自治協の会長から情報収集するなど、地域の福祉ニーズの把握に努めています。</p> <p>○保育園見学や園庭開放により子育て相談に応じるなど、地域ニーズの把握に繋がるよう取り組んでいます。</p>

27	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<p>○地域から依頼があれば、高齢者サークルや子育てサークルの講師を担当しています。また、近隣の高齢者の緊急時の連絡先の役割を担い、地域の安心に繋がる支援を実施しています。</p> <p>○地域のお祭りで園庭を開放し、地域コミュニティの活性化に貢献できるよう努めています。</p> <p>○ライフレスキュー事業に参画し、地域の福祉ニーズに対応する準備を整えています。</p>
----	-----------	---------------------------------	---	---

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

<b>Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b>				
28	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<p>○子どもを尊重した保育について、法人の運営方針や事業計画で明示し、会議などでも確認しながら人権に配慮した保育実践に取り組んでいます。</p> <p>○子どもや保護者の人権について、職員間で共通認識が持てるよう、研修や定期的にセルフチェックを行い、組織全体で考える取組を行っています。</p> <p>○職員は日常保育以外でも、近隣の神社の行事への参加時など折にふれ子どもと命の大切さを話し合う機会を設けています。また、日常の保育の中においても、子ども一人ひとりとの対話を通じて人権を大切する心を育てる取組を行っています。</p>
29	Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b	<p>○子どものプール遊びでは目隠しカーテンをし、オムツ交換時には場所の配慮など、職員は子どものプライバシーの保護に努めています。</p> <p>○保護者のプライバシー保護のため、個別の相談では外から見えないように個室やカーテンのある部屋を使用しています。</p> <p>○保護者に園内や行事における子どもの写真撮影は行わないよう協力を得ています。</p> <p>○今後さらなる取組として、子どものプライバシーを守る規定やマニュアルの充実が求められます。保育の場面ごとの具体的なマニュアルの作成や、職員や保護者への周知が求められます。</p>
<b>Ⅲ-1-1 (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</b>				
30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<p>○ホームページはわかりやすく誰でもが情報を得やすいものとなっており、SNSも活用し、日常の保育や行事の様子を伝えています。</p> <p>○見学希望は電話で受け付け、見学日時を決定し、園長、副園長、主任がパンフレットなどを用い、保育方針をはじめ必要な事柄の説明を行っています。また、離乳食やトイレトレーニングなど、保護者から出た質問や気になっていることに対して詳細に説明する時間をづくり、丁寧な対応に努めています。</p>
31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<p>○保育の開始時にはパンフレットや「入園・進級にあたって」「新年度準備品」などを用いて説明し、保護者の同意を得ています。また配慮が必要な保護者には、個別に理解しやすいように説明を行うことにしています。</p> <p>○延長保育などの料金や用具類の料金は書面で一覧表にしたものとアプリで示し、了解を得るようにしています。また業者から用具類における料金変更があれば、速やかに文書とお知らせボード、アプリで伝えています。</p>
32	Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<p>○転園後や卒園後も、運動会などの行事や年に一度の卒園同窓会に多くの子どもが出席し、職員は子どもの様子や近況を確認しています。</p> <p>○保育園などの変更にあたり、いつでも立ち寄り、相談できることを口頭で伝え相談を受け付けています。</p> <p>○さらなる取組として、保育の継続性を図るために転園の引き継ぎ文書や、終了後に相談できることを記載した文書の作成に期待します。また、対応した相談記録を書面で残す取組も期待されます。</p>

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者会に園長や主任保育士が出席し、園に対する要望や意見の把握に努めています。</li> <li>○子どもの満足度の把握については、アプリを利用して保護者から意見を求めたり、子ども達から直接話を聞いて保育の内容に反映する取組を実施しています。</li> <li>○今後さらなる取組として、匿名での満足度調査などの実施に期待します。サービスの質の向上に向けて、利用者満足度を把握する為の体制づくりや、調査結果に対して組織的な取組を実施していくことが望まれます。</li> </ul>
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b <ul style="list-style-type: none"> <li>○苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）を整備しています。</li> <li>○苦情を申し出た保護者に対して、必ずその検討内容や対応策についてフィードバックできるよう努めています。また、苦情を申し出た保護者の同意があれば、内容や対応策を公表しています。</li> <li>○今後さらなる取組として、苦情対応についての体制や手順をホームページで公開したり、保育園内でもよりわかりやすい場所への掲示するなどに取り組み、保護者などが苦情を申し出しやすい工夫に期待します。</li> </ul>
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a <ul style="list-style-type: none"> <li>○アプリを活用し保護者の意見の収集に努めています。保護者からアプリで相談や意見があれば話し合いを行い記録を残し職員間で共有しています。</li> <li>○保育参加や保護者研修会を開催し、保護者との交流機会を確保しています。</li> <li>○個室の相談スペースがあり、保護者が相談しやすく意見を述べやすい環境づくりに努めています。</li> </ul>
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者から意見や相談を受けた際には個室の相談スペースで話を聴取できるよう努めています。また、連絡ノートへの記載で気になることがあった場合は、文章の回答だけでなく、積極的に保護者と面談を行うようにしています。</li> <li>○相談や意見については記録や報告をした後、職員会議やチーム会議で対応策の検討を行い、保育の向上につながるよう努めています。</li> <li>○意見や要望の受付マニュアルを作成し、職員に周知しています。受付マニュアルは適時見直しを行っています。</li> </ul>
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に関するマニュアルがあります。職員に周知されており、保育中の事故を未然に防ぐよう努めています。園外保育の実施に際しては、目的地を下見し、ねらい、参加人数、目的地までの経路（地図に明示）などを記載した計画書を提出しています。</li> <li>○園長を責任者とし、主任がチェックリストをもとに、保育室、トイレ、園庭、固定遊具などの設備を月に1度確認しています。その他、職員からの情報をもとに安全面について話し合い、随時見直しを行っています。</li> <li>○事故防止のためのヒヤリハットの収集が不足していると考えられます。書式を工夫して書きやすくすると共に、気づきを大切にする職員の意識の向上を図るなど、保育の質の向上に向けた組織全体の取組に期待します。</li> </ul>
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症に関するマニュアルや研修記録を参考にし、感染予防に努めています。また会議で対応や予防について繰り返し話し合うことで職員への周知に努めています。</li> <li>○ノロウイルス対策として全保育室に吐しゃ物セットを準備しています。また発生を想定した対応を学んでいます。</li> <li>○保護者には入園時に感染症一覧表を配布、説明すると共に、園だよりやクラス前の掲示板やアプリを利用して情報提供し、予防についての協力、理解を求めています。</li> </ul>

39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<p>○マニュアルや防災計画にもとづき、火災、水害、地震、不審者などの様々な災害や危機を想定した訓練が毎月1度行われています。また、消防署の協力を得て避難方法の確認なども行っています。子どもは防災センターで地震体験などの機会避難訓練の大切さを学んでいます。</p> <p>○保護者との間で安否確認の方法や引き渡し方法は決めており、地域の学校の協力も得ています。</p> <p>○災害を想定した訓練に、保護者や地域の協力を求める取組に期待します。</p> <p>○災害などの発生に備え、備蓄する食料や水の必要数を分析・把握し準備していくことが求められます。また、食料の備蓄にあたっては、アレルギーのある子どもへの配慮も大切です。</p>
----	-----------	----------------------------------	---	---

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-1 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。				
40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	<p>○既存の各種マニュアルや外部研修報告をまとめたものが各クラスに置かれており、職員はいつでも確認できます。</p> <p>○保育所保育指針を基盤としながらも、画一的な保育になることなく、個性を重視した保育実践が行われています。</p> <p>○現在、基本的な業務手順はほとんど口頭で伝達され、業務が実施されています。今後さらなる取組として、一定の保育水準を保つため、職員が日常的に活用できるように標準化できる業務手順は文書化されることが望まれます。また、業務手順書にはプライバシーの配慮などを含めていくことが求められます。</p>
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<p>○業務手順やマニュアルなどは日々の保育実践の評価・反省をもとに、会議を通じて職員間で業務・マニュアルの検証、見直しを行っています。</p> <p>○今後、保護者の意見や提案も取り入れて業務手順を検討し、組織として定期的な見直しを行うと共に、PDCAサイクルで保育の質の向上に向けた取組に期待します。</p>
Ⅲ-2-2 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。				
42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b	<p>○子どもの身体状況や生活状況、発達過程については、児童票、健康診断表、保育経過記録などで把握しています。また、クラス懇談会などで保護者ニーズを聞き取り、指導計画を作成しています。</p> <p>○個別支援はアセスメントをもとに協議し、また、調理業務員や様々な職種の外部関係者とも連携し、保護者の意向も踏まえて指導計画を作成しています。</p> <p>○子ども全員の保育に対する保護者の具体的なニーズやアセスメントの協議内容を書面で残す取組に期待します。また、アセスメント手順と手法を保育園として定め、保護者の意向確認や書面で同意を得る取組に期待します。</p>
43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<p>○指導計画の評価、見直しはクラスリーダーを中心に各クラスで定期的に行われ、次へ繋げていくPDCAサイクルで行われています。園長や主任は全クラスの指導計画の変更を確認しています。</p> <p>○指導計画を急に変更する場合は、園長に相談の上、チーフ会議や職員会議で情報共有しています。保護者にも通知し、同意を得て指導計画を変更しています。</p>

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
44	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a ○子どもの発達状況の記録は個人記録や保育経過記録などで行われています。3歳未満児やさぼ～と保育の子どもの記録は、全員分毎日記録され、日々の状態の変化や心身の発達過程がわかる記録となっています。 ○3歳以上児においても、日々数名ずつの個人の記録が行われており、個別支援として職員間で共有しています。また支援はクラス担任間で、もしくはチーフ会議や職員会議で定期的に協議しています。
45	Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ○園長が記録管理の責任者として明確にされ、子どもに関する書類は運営規定にもとづき、保存、破棄を行っています。保育記録などの書類は事務所内の鍵のかかる場所で保管しています。 ○ホームページにて「個人情報に関する基本方針」が公開されています。個人情報の開示・訂正についても案内があり、窓口となる電話番号、担当者を紹介しています。

## A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成			
	項目	評価	コメント
46	A-1-(1)-①	b	○全体的な計画は、保育園の理念や基本方針を基本とし、子どもの発達過程や、発達の連続性を踏まえて、各会議での話し合いを通して作成しています。また必要に応じて見直し、年度末毎に次年度の計画を立てています。 ○令和3年度の全体的な計画が継続して使用されています。子どもの発達過程など基本的な部分の確認をしていますが、家庭や地域を取り巻く環境の変化も保育実践に影響すると考えられます。環境の変化に応じた全体的な計画の創意工夫に期待します。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-(2)-①	a	○室内は適切な温度、湿度の管理がなされ、また清掃も行き届いており清潔が保たれています。園庭全体は砂遊びができるように整備され、植木の手入れも定期的に行い安全が保たれています。夏場は樹木が木陰を作っています。 ○子どもの健康被害を無くすために、昼寝のスペースには床暖房は使用せず、温度や採光に配慮して、昼寝に適した心地良い空間作りを行っています。 ○低年齢児の保育室には畳やソファを置いています。また2階園庭はどの年齢の子どもも安全に遊んだり、心地良く過ごせる空間となっています。
48	A-1-(2)-②	a	○年度初めに保護者が記入した児童票や保護者からの情報をもとに、子どもの発達や家庭環境の把握に努め、クラス会議、職員会議などで情報を共有し、一人ひとりの子どもに応じた関わりに努めています。 ○職員は日々、子ども一人ひとりに関わる時間を設けるように努め、子どもへの気づきや配慮を指導計画に記録しています。また、子どもへの理解を深め、援助方法を確認するため、会議で提案し職員間で話し合っています。
49	A-1-(2)-③	a	○基本的な生活習慣の獲得は、一人ひとりの子どもに合わせて適切なタイミングで行うようにしています。家庭との連携で行いますが、家庭では頑張りすぎないようにと声掛けし、子どもが安定した状態で安心して習得できるように取り組んでいます。 ○子どもの自発性が育まれるように、衣服の着脱においては、遊びを通して関心を持つような工夫をしたり、手洗い保清においては、目印となる絵をタオル掛けに使用するなど、環境整備の工夫をしています。また子どもの積極的な態度を尊重した声掛けや見守りを行っています。

50	A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<p>○園庭で子どもが友達と協同で意欲的に遊べる環境構成や保育援助に工夫が見られます。砂遊びをはじめ、カエルやダンゴムシ探し、夏は水鉄砲やボディペイント、泥んこ遊びなどもあり、外遊び用玩具も豊富に揃えています。</p> <p>○散歩など四季を通じて園外保育に出かける機会が多く、子どもが興味や関心を持って自然と触れ、また地域の人達に接する機会を設けて、豊かな体験を積み重ねています。</p> <p>○ごっこ遊びや室内でのコーナー遊び、積み木やブロック、ラキュー、カプラ遊びなど、自発的に友だちと協同で遊べる玩具も多く揃えており、遊びを深め表現力を豊かにしています。</p>
51	A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>○月齢や個人差で2か所の部屋に分け、月齢の大きい子どもは運動遊びができ、月齢の小さい子どもは安全にハイハイができる環境にするなどの工夫が見られます。</p> <p>○職員は手遊びしたり、一人ひとりとスキンシップをはじめ、ゆっくり関わられるようにし、子どもの少しの変化や健康状態への気づきが捉えられるように努めています。また、連絡ノートを利用して、日々の様子を細かに保護者に伝えています。</p> <p>○食事はそれぞれの発達の違いや離乳食の進み具合により、少人数のテーブルで一人の職員が子どもの表情を見て、言葉がけしながら食事介助を行っています。</p>
52	A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>○基本的な生活習慣の習得などは一人ひとりの子どもに対して、発達過程に応じた適切な援助や工夫を行うため、職員間で話し合いを重ねています。保護者には連絡帳や会話を通して伝えています。</p> <p>○動きが活発になると、遊びの中で全身遊びや子どもが好む体操や踊りを多く入れています。また、室内遊びの他、園外保育や外遊びの機会を設けて、探索活動も安全面に配慮しながら見守っています。</p> <p>○手作りのブロックや玩具を揃え、また、小麦粉粘土など活動で使用する素材にも配慮し、安心して自発的な活動ができるよう努めています。</p>
53	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>○年齢や発達に応じた適切な指導計画が立案され、5領域の視点を計画に取り入れて実施されています。園外保育など、身近な自然との関りや実体験を大切に、豊かな感性を培われ、思考力や表現力が深められるように環境を整えています。</p> <p>○一人ひとりの子どもが生活と遊びに意欲的に取り組み、また集団の中でも自分を表現できる経験を積むことで、できる喜びや達成感を感じ、自信につながるように保育に配慮がなされています。</p> <p>○地域の行事に参加するなど地域の人との交流があり、また、SNSを通して保護者などに協同活動の様子が伝えられています。</p>
54	A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>○園舎にはエレベーターが設置され、全体的に段差を少なくした構造になっており、障がいのある子どもに配慮した環境になっています。</p> <p>○特別支援保育（さぼ〜と保育）の子どもには特性や発達に応じて、個別の指導計画を作成し、関係機関とも連携して支援しています。</p> <p>○障がいの診断は受けてはいるものの特別支援保育（さぼ〜と保育）を希望しない保護者や、障がいの診断を受けていないが配慮が必要な子どもの保護者に対しても、個人別ノートに記録しながら連携を図っています。これらは各種の会議を通して職員間で情報が共有され、支援方法についても協議を行っています。</p>
55	A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<p>○一日を通して保育内容を工夫し、活動と休息のバランスに配慮しています。</p> <p>○18時までは0歳児と1歳児、2歳児と3歳児、4歳児と5歳児がそれぞれに同じ部屋で過ごしています。また、18時以降の延長保育ではおやつとジュースが提供されます。</p> <p>○クラス担当保育士から次に担当する保育士へ引継ぎが行われます。必要に応じてクラス担当保育士が保護者と直接話ができるようにしています。</p> <p>○延長保育の部屋では通常保育で遊んだ玩具とは別の玩具で遊べるようにしていますが、在園時間の長い子どもが安心して心地良く過ごせるように保育内容や環境へのさらなる配慮を行うと共に、指導計画に長時間保育の子どもに対する保育の位置づけを明確化することを期待します。</p>

56	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<p>○クラス担当保育士は基本的な生活習慣の取得と数々の行事の経験を通して、子どもが自信をもって生活でき、小学校以降の学びとつながるように接しています。</p> <p>○保護者との個人懇談の機会を設けることで、職員は保護者と子どもの成長を確認し、就学への見通しが立てられるように取り組んでいます。</p> <p>○保育所児童保育要録は園長、主任、クラス担任などで協議、作成しています。また、保幼小連絡会に積極的に参加し、保護者の了承のもと配慮が必要な子どもの情報提供を行っています。</p>
<b>A-1-(3) 健康管理</b>				
57	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<p>○子どもの健康管理に関するマニュアルと、毎年策定の保健計画により、子どもの健康に関する方針や取組を明確にしています。また、これを職員間で共有し、保護者にも保健だよりなどで知らせています。</p> <p>○職員は子どもの健康状態を児童票など保護者からの情報をもとに把握し、日々の子どもの健康状態を確認しています。さらに、毎月、身長、体重測定を行って保護者に通知すると共に健康診断票にも記入し、変化や気づきが得られるようにしています。</p> <p>○保護者に生活リズムを整えることや「ノーメディアデー」「早寝早起き朝ごはん」などの取組を通して、子どもの健康の保持への取組として協力を呼び掛けています。また乳幼児突然死症候群に関しても保護者への周知に努め、保育園の午睡時にはチェック表を用いて確認をしています。</p>
58	A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<p>○年に2回、保健計画にもとづいて嘱託医による健康診断と歯科検診、検尿などが実施され、結果は記録に残すとともに、保護者に書面で伝えられます。また必要に応じて、相談の場を設けて保護者と面談し、場合によっては受診を促したりしています。</p> <p>○基本的な生活習慣の一つとして食後の歯磨きなどを指導計画に策定して取り組んでいます。また虫歯予防に関心が持てるように、制作や絵本などを活用するなど、保育活動に取り入れてます。</p>
59	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<p>○アレルギー対応ガイドラインや保育園独自のマニュアルにもとづき、主治医からの診断書を確認し、アレルギーのある子どもへの除去食に対応しています。</p> <p>○調理室では調理の始めから除去食材を記載したネームプレートがトレイに乗せるまでの一連を、一人の職員が担当して全て行っています。またアレルギー食が普通食と色、形に相違が出ないように、調理方法や材料を工夫しています。</p> <p>○喘息など慢性疾患のある子どもに対して、保護者との対応を協議し、花粉やpm値を確認して外遊びを控えるなど、適切な対応を行っています。</p>
<b>A-1-(4) 食事</b>				
60	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<p>○職員間で連携して子どもが食事を楽しむ環境の整備を行っています。離乳食の進め方から子どもの発達に合わせた食材の切り方、硬さの調整にも工夫を凝らし、個人差にも配慮して提供しています。</p> <p>○食材を紹介する時間を設け、大根やスイカなどの実物の野菜や果物に触れたり、保育活動の一環として、クッキング保育もあります。また、そら豆やとうもろこしなどの栽培活動を体験することで、子どもの食への関心を深めています。</p> <p>○給食予定献立表を毎月配布して、食育計画にもとづき郷土料理の取組の案内や、子どもの食事に関する情報を掲載しており、保護者からの質問も受けています。給食室前にその日の献立のサンプルを置いています。</p>
61	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<p>○献立は和食中心となっており、魚や季節の野菜、海藻類を使用した献立が多く、出汁は昆布や鰹節など天然素材を用い調理されています。</p> <p>○調理担当者は毎日子どもの食事の様子や進み具合などを確認し、また検食簿から次の調理の参考にしています。</p> <p>○保護者や担任保育士と連携して、その日の子どもの体調や口腔状態により、粥にしたり、切り方を変えるなどの工夫をして、一人ひとりに応じた食事を提供しています。</p> <p>○ノンアレルギーデーを月に数回設け、アレルギー疾患のある子どもも皆と一緒に食べられる食事やおやつを提供するなど、配慮を行っています。</p>

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
62	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員は保護者との対話を大切に、毎月の園だより、クラスだより、クラス前の掲示板などで子どもの保育に関する情報を伝えている他、連絡帳でも情報交換を行っています。</li> <li>○月に1度ノーメディアデーを設け、家庭における子どもの生活や子どもとの関りを、保護者と一緒に考える機会としています。</li> <li>○3歳以上児で、保育実践の場に保護者が参加できる「保育参加」が設定され、保育内容や子どもとの関わり方を共有しています。また遠足や夏祭りなども全クラス保護者参加型にし、遊びやふれあいを通して、子どもの成長や発達を共に考える機会を提供しています。</li> </ul>
A-2-(2) 保護者等の支援			
63	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が安心して保育園を利用できるよう、職員は送迎時にできるだけコミュニケーションをとり、また個人懇談を行うなどで、保護者が相談しやすいように配慮しています。</li> <li>○職員は日常的に保護者からの子育て相談や悩みを受けており、口頭で応じることが多くあります。また給食のレシピを手渡して相談にのるなど具体的支援も行っています。</li> <li>○今後さらなる取組として、相談内容を書面で残し職員間で共有する取組に期待します。保護者支援として組織的に取り組む体制づくりが求められます。</li> </ul>
64	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○虐待予防のマニュアルにもとづき、登園時の子どもの表情、衛生面の状況をはじめとする視診をよく行い、また身体測定結果やう歯の状態などを通して、早期発見に努めています。また関係機関への情報提供や連携も行っています。</li> <li>○送迎時の保護者の子どもに対する言葉かけや態度から、支援の要請がなくとも保護者に寄り添った声掛けをするなど、職員から積極的に保護者に働きかけを行っています。また職員に気軽に相談しやすいような雰囲気作りに努め、虐待予防に努めています。</li> </ul>

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
65	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	<p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員間で保育実践の振り返りを行い、自己評価を通して、お互いの力量を高めあい、専門性の向上を図っています。</li> <li>○園内研修において、子どもの内面的成長が見られた事例の発表が行われ、学び合いの機会となっています。</li> <li>○今後さらなる取組として、各職員が個別に行う自己評価の実施が望まれます。チェックリストなどを用いて、自らの実践と子どもの育ちを捉える視点を振り返るなど、組織全体で保育の質の向上に向けた定期的な取組に期待します。</li> </ul>